



4月から産業建設課に新しい風を吹かせているのは、新久保良美さん。良美さんは、農業大を今年卒業したばかりのフレッシュウーマンで、毎日いきいきと仕事をこなしている。

良美さんに、役場を受験しようと思ったきっかけを尋ねると「実家が農業をしていて、小さい頃から農業に興味がありました。それで学校も農業関係の学校を選んだのです。だから、農業に関わる仕事に就きたいと思っていました。」と話した。そして、「親の勧めも大分影響していますけど・・・。」と笑った。そこで、「役場に入って正解でしたか?」と意地悪な質問をする。「今は、解らないことだらけで、勉強勉強の毎日なので役場に入って正解とかいう感覚はままだないです。ただ、錦江町が好きで地元就職したかったのと、錦江町の農業の発展・錦江町の

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第35回は、壱崎自治会の新久保良美さんです。

◎35人目

新久保良美さん 【壱崎自治会】



お茶の状態を確かめる?良美さん。実は確認ではなく勉強しているのだそう。

発展に関わっていく仕事なので、すごく充実した毎日を送っています。まだまだ、力不足ですけど・・・。」と真剣な眼差しで話した。良美さんの強い意気込みと信念を感じた。

良美さんの趣味は。高校から続けている弓道とのことで、初段の腕前だと弓を引く真似をして見せた。休みの日は弓道をも?と尋ねると「実家の農業を

手伝っています。と言うか、勉強になることがたくさんあるのですね。」と研究熱心で真面目な一面をのぞかせた。付け加えて「趣味ではないですが、食べるのも大好きです。」と若い女性らしい答えが返ってきた。余談だが、カレーはカツカレーよりからあげカレー派だということを付け加えておこう。

良美さんは、初々しく、それ

でいて信念を持っているまぎれもない錦江町のホープだった。

本人より一言

4月1日付で産業建設課に配属され、農政を担当することになりました。

地元であるこの錦江町で、職員として働けることになりとてもうれしく思います。

まだわからないことも多く不安もありますが、これから一つずつしっかりと覚えていきたいと思えます。また、地域でのイベントなどにも積極的に参加していきたいと思っています。

少しでも早く仕事に慣れ、地域の方々のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願います。



編集後記

●ゴールデンウィークは皆さんどのように過ごされたでしょうか?私は、ハワイに行つて来ました!と言つたらみんな信用するぐらい日焼けしてしまいました・・・。職場のみんなから「産業振興課のT君みたい!」とお褒めの言葉をいただく毎日です。(二年中、夏を先取りしているT君と私でした・・・)

●先日、某有名ダンサーの方たちとお話する機会に恵まれました。一人の青年は、「私は、ダンスでご飯を食べているのだから、どんなに忙しい時でも、どんなにきつい時でも、仕事では絶対にそんな姿は見せません。いつも最高の仕事するようにしています。だって、お客さんは私の最高のパフォーマンスにお金を払ってくれるのだから、それがプロだと思えます。」と、もう一人の青年は、「僕たちダンサーは、服装などで判断されがちな部分があります。だから、どんな時も礼儀やルールを大事にしています。それを、しっかりと子ども達にも伝えていきたいです。」と、私より若い二人に大切なことを教えられた午前5時でした。



発行/錦江町役場

■編集/企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

■ホームページ/http://www.town.kinko.lg.jp/ ■印刷/(有)南大陽新生社印刷

